



CONTENTS

- | | |
|------------------------------|-----------------------------|
| 1. ガバナーメッセージ …………… 1 | 7. ロータリーモーメント …………… 9 |
| 2. RI会長メッセージ …………… 3 | 8. ロータリーコラム …………… 11 |
| 3. 直前ガバナーへの感謝 …………… 5 | 9. ロータリーの歴史 …………… 15 |
| 4. 地区運営組織図 …………… 6 | 10. ロータリー情報 …………… 17 |
| 5. ガバナー補佐・委員会・地区幹事一覧 …… 7 | 11. 2015-16年度 4月会員の動き …… 裏面 |
| 6. 2016-17年度 公式訪問日程表 …………… 8 | |



人類に奉仕する
ロータリー

2016-17年度
国際ロータリー会長
ジョン F. ジャーム

2016-17年度 第2650地区

刀根 荘兵衛 ガバナー メッセージ



人類に
奉仕する
ロータリー



2650地区 ロータリークラブ 会長・幹事の皆様へ

謹啓

夏至も過ぎ、陽射しも強くなり本格的な夏を迎えました。各クラブの会長、幹事の皆様におかれましては、ご健勝のこととお喜び申し上げます。

いよいよ本日から新しいロータリー年度の始まりです。何分にも至らない浅学非才の身でございますが、この月信を通じまして、皆様のお役にたてますように出来るだけ様々なロータリーに関する情報をお伝えしたいと存じます。

皆様の温かいお力添えを宜しくお願い申し上げます。

さて、本年度のジョン F. ジャーム国際ロータリー会長は、2016-17年度のテーマとして「**人類に奉仕**

するロータリー」を選びました。大変シンプルな言葉ですが、ロータリー運動の本質を示している言葉だと認識しています。

111年前にポール・ハリスがロータリーを創設してから2年後、ロータリーは「親睦 (Fellowship)」とともに「奉仕 (Service)」をロータリーの中核的価値観に置き発展してきました。そしてこの理念は、今後ロータリーがどのように変革を遂げても決して変わることのない根本理念であり、ロータリアンをロータリアンならしめている真髓なのだと、ジャーム会長は述べられました。

「毎日1回、何か一つのよいことを行う。たったそれだけでいいのです。それが私たちがロータリーに居

ロータリー歴

クラブ関係

1982年3月3日 敦賀ロータリークラブ入会
2001-02年 理事 会長

地区関係

2002-04年度 地区規定審議委員会委員
2004-05年度 地区幹事長
2006-07年度 地区手続規則委員長・地区大会決議委員長
2007-10年度 ガバナー補佐
2009-12年度 地区マニュアル編集委員会委員
2011年 日本ロータリーEクラブ2650 ガバナー特別代表
2011年～ RLI 日本支部カリキュラム委員
2014-15年度 地区研修委員会副委員長

その他

ロータリー財団メジャードナー、ベネファクター
米山功労者 メジャードナー

2016-17年度
国際ロータリー第2650地区
ガバナーの経歴

刀根 荘兵衛
とね しょうべえ

敦賀ロータリークラブ

る理由であり、まさにロータリーの奉仕なのです。ロータリーが最善を尽くして人類に奉仕し、出来る限り多くの人々の人生をより良く出来るようにすることが私たちの役割なのです」と、協議会でのスピーチを締めくくられました。

この素晴らしいスピーチに国際協議会の満員の会場は割れんばかりの拍手に包まれました。

元来、ロータリーの奉仕理念は高度な哲学や宗教から出発したものではなく、人間が本来生まれながらに心の奥に持っている目に見えない精神、他人に役立ちたいという心を発掘し、育てていくことなのです。これがロータリーの生命力であり、また原点でもあります。ロータリーとは、人間が本来持っている普遍的な価値、すなわち何か人に役立ちたいと言う気持ちを推進し、実行し、広げていこうという運動なのだと思います。

また、奉仕 (Service) は決して自己犠牲を強要するものではありません。人のために尽くすことは、結局、自分のためになるのです。私たちはこの一連の思想を次のようなモットーで表しています。“He profits most who serves best.” (最も奉仕するもの最も多く報われる)。ポール・ハリスはこの“profit”は『お金ではなく、人生のサムシング』なのだと述べています。

このモットーを体験的に信じている世界中の人の集まりがロータリーであり、これはロータリーの実践原理なのです。私はこのロータリー精神は変わることがないと思いますし、また変えてはいけないものだと思います。

現在、ロータリーは大きな変革期に差し掛かってお

ります。特に、昨今ロータリーのルールはより開放的に変更される傾向になり、また奉仕理念の研さんよりも大規模な人道的奉仕の実践や参加により重点が置かれるようになりました。

さらに、日本独自の問題として、少子高齢化と人口減少、特に地方における生産年齢人口の減少が大きな課題となっております。

このような変化の中にあって、私たちはロータリーの精神を奮い起こしながら、これから10年後20年後のクラブの未来を語り、理想の姿を思い描きながら、現在の姿を刷新“Renew”していかねばならない時期に来ているのではないのでしょうか。

また、そのために求められる事は、変化を受け入れる寛容な心であり、思いやりと知恵にあふれた心であり、何より自らが変化をリードしていく気概が、必要なのではないのでしょうか。

本年度、微力ではございますが、皆様のお役にたてるように、精一杯努力をさせて戴ければと存じます。そして一緒に、それぞれの理想のロータリーに向けてその一歩を踏み出すことが出来ればと考えております。

最後になりましたが、会長幹事様におかれましては、素晴らしい充実した一年になりますことを心より祈念申し上げます。

2016-17年度ガバナー

刀根 荘兵衛

謹白

『私の願い』

一隅を照らす者で私はありたい
私の受け持つ一隅が
どんなに小さいみじめな
はかないものであっても

悪びれず
ひるまず
いつもほのかに
照らして行きたい

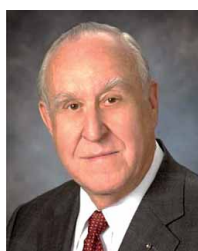
田中良雄 (元住友本社常務理事)

2016-17年度 国際ロータリー

ジョン F. ジャーム会長メッセージ



人類に
奉仕する
ロータリー



人類に奉仕するロータリー

111年の歴史の中で、ロータリーは多くの人に意味を持ってきました。会員は、ロータリーを通じて友人と出会い、地域社会とつながり、目的意識を持ち、人びととの絆を育み、キャリアを築き、ほかでは味わえない貴重な経験をしてきました。毎週、世界34,000以上のクラブのロータリアンが、語り、笑い、アイデアを分かち合うために集います。しかし、私たちが集う一番の理由は、最も大切な目標、すなわち「奉仕」のためです。

ロータリーの初期から、人類への奉仕はロータリーの礎であり、主な存在理由となってきました。今日の世界で意義ある奉仕を行う最善の道はロータリー会員になることであると、私は信じています。また、世界に確かな変化をもたらすために、ロータリーほど優れた立場にある団体はないと考えています。さまざまな分野から熱心で有能な職業人が集まり、壮大な目標を実現できる団体も、ほかにありません。ロータリーには、世界を変える力、ネットワーク、知識の結集があります。ロータリーに限界があるとしたら、それは私たちが自分自身に設けている限界にすぎません。

2016-17年度
RI会長の経歴

ジョン F. ジャーム
John F. Germ

CHATTANOOGA ロータリークラブ
第6780地区 米国 (テネシー州)

ロータリー歴

1976年 ロータリー入会

地区ガバナーを歴任・RI 研修リーダー・エリアコーディネーター・多数の委員会委員長・会員増強ゾーンコーディネーター。規定審議会代表議員および議長・RI 会長エイド・RI 理事会執行委員・ロータリー2億ドルのチャレンジ委員長・財団管理委員長エイド・財団管理委員と副管理委員長・RI 副会長と理事

● ロータリー関係受賞

RI 超我の奉仕賞・ロータリー財団功労表彰・特別功労賞など各賞を受賞
ジュディ夫人とともに財団のベネファクターおよびアーチ・クランフ・ソサエティ会員

● 家族

お二人には、4人のお子さんと6人のお孫さんがいます。

現在、ロータリーはとても大事なときを迎えています。今はいろいろな意味で今後を決定づける歴史的な節目です。私たちは力を合わせ、世界に重要な奉仕を行ってきました。そして、今、世界の行く末は私たちのさらなる奉仕にかかっています。世界でもっと大きな「よいこと」の推進力となるために、固い決意と熱意でポリオ撲滅を成し遂げ、勢いをつけてロータリーをさらに前進させながら、これまでの成功をバネに飛躍する 때가来たのです。

ポリオ撲滅から私たちが学んだ多くのことの中で、最も大切ながら最もシンプルなこと、それは、ロータリー全体の発展を望むなら、全員が同じ方向に進まなければならないということです。クラブ、地区、RIレベルにおけるリーダーシップの継続は、ロータリーを繁栄させ、その秘めたる可能性を最大限に発揮する唯一の方法です。新会員の入会や新クラブの結成だけでは十分ではありません。私たちが目指すのは、単にロータリアンの数を増やすことではなく、ロータリーによる善き活動をより多く実現させ、将来にロータリーのリーダーとなれるロータリアンを増やすことです。

ポール・ハリスは晩年、ロータリー設立の経緯について振り返り、次のようにつづっています。「個人の努力は個々のニーズに向けることができます。しかし、大勢の努力の結集は、人類の奉仕に捧げなければ

なりません。結集された努力に限界というものはありません」。いつの日か120万人以上のロータリアンが一体となり、ロータリー財団や各自のリソースを駆使して、人類への奉仕に取り組むことになろうとは、ハリスも想像しなかったでしょう。そのようなロータリーに対して、ハリスがどんな奉仕を期待するのか、私たちは想像するしかありません。「**人類に奉仕するロータリー**」の伝統を継承する名誉を授けられた私たちに、このような奉仕を行っていく責務があるのです。

心を込めて



2016-17年度 国際ロータリー会長

ジョン F. ジャーム
John F. Germ

職歴

1. エンジニアリングのコンサルティング会社 (Campbell and Associates 社) の理事兼CEOとして入社 (入社前は空軍に4年間在籍)
2. Public Education Foundation と Orange Grove Center の理事および執行委員
3. Blood Assurance の理事長
4. Chattanooga State Technical Community College Foundation の創設者および財務長
5. Tennessee Jaycee 財団の会長

受賞歴

- 1970年 「Tennessee Young Man of the Year」 賞受賞
- 1986年 「Engineer of the Year」 賞受賞
- 1992年 「Volunteer Fundraiser of the Year」 賞受賞
- 2009年 「Tennessee Community Organizations Volunteer of the Year」 賞受賞
「Boy Scouts Silver Beaver Award」 賞と 「Arthritis Foundation Circle of Hope Award」 賞受賞
- 2013年 「Champion of Change」 として米政府より表彰される

直前ガバナーへの感謝

2016-17年度ガバナー 刀根 莊兵衛

中澤忠嗣ガバナーには、1年間本当にお疲れ様でした。また、ご指導、誠に有難うございました。

中澤ガバナーはこの一年を通じて、「ロータリーはクラブが主体であり、地区の最重点課題は各クラブのサポート活動である」と訴えられ、各クラブがロータリーの原点をよく見極め、個性に溢れ、憧れのあるクラブ作りを目指すようご指導戴きました。

さらに、公式訪問では、会員の皆様と大変フランクに親しくご懇談され、大いにコミュニケーションを深めておられました。私はこの中澤ガバナーのご方針に深く共感し、大いに賛同するものでございます。次年度、私はこのご方針を引き継ぎさせて戴くと共に、さらに発展させ、クラブ様へのサポートに全力を挙げて取り組んで参りたいと存じます。

振り返りますと、昨年度は大きな行事が多い年度でございました。9月には、全国インターアクト研究会、3月には、アジア太平洋地域ローターアクト研究会、全国ローターアクト研究会など、例年になく行事が目白押しでございましたが、このような慌ただしい中で、中澤ガバナーは常に冷静に、また時には、巧妙洒脱なジョークを飛ばしながら、周囲を笑いに巻き込み、素晴らしいリーダーシップを発揮されておられました。私はこのような中澤ガバナーのお姿を憧れと尊敬の念で拝見させて戴いておりました。

また、中澤ガバナーは、ロータリーやお仕事だけではなく、狂言や茶道など、数多くのご趣味をお持ちの文化人であり、またハイセンスで粋な京都人でもございます。

とても足元にも及ばない至らない身でございますが、今後とも変わらぬご指導ご鞭撻を宜しくお願い申し上げます。一年間本当に有難うございました。





国際ロータリー第2650地区 2016-17年度 地区運営組織図



◆RIテーマ

“Rotary Serving Humanity”

◆財団100周年

◆地区スローガン

「夢を語り、現在を刷新」
“Review from the future and Renew”

◆地区大会

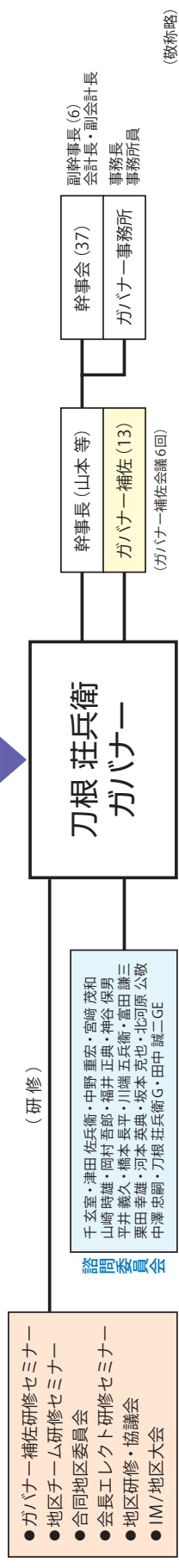
2017年4月9日(日)
(サンドーム福井)

◆四つのテスト

- 言行はこれに照らしてから
1) 真実かどうか
2) みんなに公平か
3) 好意と友情を深めるか
4) みんなのためになるかどうか

IM	第1組	第2組	第3組	第4組	第5組	ガバナー直轄	会員数			
ロータリークラブ	滋賀第1グループ(6RC) 大津(104) 草津(30) 大津西(21) 大津東(24) 高島(45) 大津中央(27)	京都北部グループ(7RC) 福知山(58) 舞鶴(29) 綴部(27) 宮津(35) 京丹後(29) 舞鶴東(40) 福知山西南(40)	京都市域第1グループ(8RC) 京都西(102) 京都西南(45) 京都西北(45) 京都洛西(51) 京都桂川(29) 京都嵯峨野(23) 京都平安(26) 京都市域第2グループ(9RC) 京都南(223) 京都東(96) 京都東山(75) 京都伏見(93) 京都洛北(73) 京都洛南(32) 京都洛東(42) 京都朱雀(41)	京都南部グループ(11RC) 宇治(40) 京都乙訓(42) 亀岡(29) 京都城陽(32) 京都八幡(30) 京都西山(20) 京都山崎(33) 宇治鳳凰(51) 京岡中央(11) 京岡田辺(17)	奈良1グループ(7RC) 奈良(132) 大和郡山(53) 奈良西(44) 生駒(22) 奈良大宮(73) 平城京(26) 奈良東(41)	福井第1グループ(7RC) 福井(123) 勝山(30) 大野(41) 福井南(35) 福井東(45) 福井アエツ77(56) 福井あじさい(65)	福井第2グループ(7RC) 鯖江(33) 福井北(109) 三国(33) 丸岡(36) 福井西(34) 鯖江北(13) 福井水山(23)	福井第3グループ(5RC) 武生(60) 敦賀(34) 若狭(28) 武生府中(30) 敦賀西(18)	Eクラブ(1RC) 日本ロータリーEクラブ2650(58)	滋賀県(IM1組) 920 京都北部(IM2組) 258 京都市域と南部(IM3組) 1,906 奈良県(IM4組) 702 福井県(IM5組) 846 Eクラブ 58 合計 4,690人 (全97RC) (2016年4月末)
ガバナー(所属RC)	吉田 近博 (高島)	小森 一宏 (京都中)	吉川 裕丈 (京都洛西)	福井 純史 (京都八幡)	石井 光洋 (五條)	平田 好祐 (福井アエツ77)	木村 昌弘 (三国)	辻岡 俊三 (武生)		

地区委員会	委員長(兼RC)	担当諮問委員
戦略計画	刀根 莊兵衛	刀根 莊兵衛
地区ガバナー指名	刀根 莊兵衛	刀根 莊兵衛
意義ある業績賞	中澤 忠嗣	中澤 忠嗣
危機管理	刀根 莊兵衛	刀根 莊兵衛
新世代育成基金特別	刀根 莊兵衛	刀根 莊兵衛
奨学金特別	刀根 莊兵衛	刀根 莊兵衛
地区災害対策	刀根 莊兵衛	刀根 莊兵衛
地区研修	神谷 保男	神谷 保男
RLI	田中文夫	田中文夫
規則・手続	佐藤 公一	佐藤 公一
ロータリー情報	高橋 行雄	高橋 行雄
財務	山形 晃	山形 晃
会員増強・拡大	岡崎 正司	岡崎 正司
地区学友	森定 秀夫	森定 秀夫
職業奉仕	伊藤 哲雄	伊藤 哲雄
社会奉仕	北野 加代子	北野 加代子
青少年奉仕	新谷 雅嗣	新谷 雅嗣
インターアクト	伊藤 勝路	伊藤 勝路
ロータリーアクト	宮本 研二	宮本 研二
青少年交換	柴田 正明	柴田 正明
国際奉仕	浦島 睦	浦島 睦
フェローシップ	木下 公一	木下 公一
広報	高野 治	高野 治
米山奨学	富川 悟	富川 悟
地区ロータリー財団	八木 秀之	八木 秀之
財団資金推進	脇田 武勝	脇田 武勝
大口寄付・ポリオプラス	畑 東海男	畑 東海男
財団補助金	井澤 茂	井澤 茂
財団資金管理	山本 憲宏	山本 憲宏



国際ロータリー第2650地区 2016-17年度 ガバナー補佐名簿

(敬称略)

担当エリア	氏名	担当エリア	氏名	担当エリア	氏名
京都市域第1	小森 一宏 (京都市 RC)	奈良第1	倉本 堯慧 (奈良東 RC)	福井第1	平田 好祐 (福井フェニックス RC)
京都市域第2	吉川 裕丈 (京都洛西 RC)	奈良第2	石井 光洋 (五條 RC)	福井第2	木村 昌弘 (三国 RC)
京都市域第3	山口 義治 (京都洛東 RC)	滋賀第1	吉田 近博 (高島 RC)	福井第3	辻岡 俊三 (武生 RC)
京都北部	榑田 匠 (京丹後 RC)	滋賀第2	川嶋 正昭 (びわ湖八幡 RC)		
京都南部	福井 純史 (京都八幡 RC)	滋賀第3	辻 喜八郎 (長浜 RC)		

国際ロータリー第2650地区 2016-17年度 地区委員会構成一覧表

(敬称略)

委員会	委員長	委員	委員数	委員会	委員長	委員	委員数
諮問		千宮崎 茂和 (京都) 福井 正典 (京都山) 橋本 長平 (京都東) 栗田 幸雄 (福井北) 北河原公敏 (奈良大宮)	17	職業奉仕	伊藤 智雄 (京都洛西)	中島 健* (宇治風風) 福留 伸一 (やまと西和) 三ツ橋 武男 (長浜) 田中 茂 (武生)	12
戦略計画	刀根 壯兵衛 (敦賀)	中澤 忠嗣 (京都南) 田中 誠二 (京都東)	3	社会奉仕	北野 加代子 (栗東)	影近 義之* (京都東) 岩崎 新 (福井) 大島 國裕 (奈良)	10
地区ガバナー補佐		小森 一宏 (京都市) 榑田 匠 (京丹後) 石井 光洋 (五條) 辻 喜八郎 (長浜) 辻岡 俊三 (武生)	13	青少年奉仕	新谷 雅嗣 (福井北)	大島 友治* (福井北) 平松 隆一 (福井) 河崎 新一 (武生) 向 真史 (八日市南) 鳥垣 壯司 (宮津)	15
地区ガバナー指名	刀根 壯兵衛 (敦賀)	富田 謙三 (京都) 坂本 克也 (京都八幡)	7	インターアクト	伊藤 勝昭 (草津)	中村 廣良* (京都洛東) 福留 幸一 (京都東山) 杉本 定幸 (彦根南)	11
地区ガバナー補佐指名	刀根 壯兵衛 (敦賀)	栗田 幸雄 (福井北) 河本 英典 (大津) 中澤 忠嗣 (京都南)	7	ロータリーアクト	宮本 研二 (京都西)	小牧 靖彦* (京都南) 村田 健二 (大津) 須賀原和広 (福井)	10
意義ある業績賞	中澤 忠嗣 (京都南)	川端五兵衛 (近江八幡) 河本 英典 (大津) 刀根 壯兵衛 (敦賀)	8	青少年交換	柴田 正明 (長浜)	福村 浩之* (奈良) 伊藤 仁一 (福井) 村本 都夫 (水口)	10
危機管理	刀根 壯兵衛 (敦賀)	中澤 忠嗣 (京都南) 佐藤 公一 (平城京) 伊藤 勝昭 (草津) 高野 治 (奈良大宮)	13	国際奉仕	浦島 睦 (奈良東)	中窪 啓司* (平城京) 中東 弘京 (奈良東) 井 泰幸 (彦根) 山本 耕司 (福井東)	11
新世代育成基金特別	刀根 壯兵衛 (敦賀)	小森 一宏 (京都市) 榑田 匠 (京丹後) 石井 光洋 (五條) 辻 喜八郎 (長浜) 辻岡 俊三 (武生)	14	フェローシップ	木下 公一 (京都南)	坂口 昌弘* (大津) 太野垣 裕二 (京都南) 全 永奈 (京都伏見)	8
ロータリー希望の風奨学金特別	刀根 壯兵衛 (敦賀)	田中 誠二* (京都東)	4	広報	高野 治 (奈良大宮)	守本 洋季* (野洲) 糸井 正樹 (宮津) 村本 康弘 (大津)	12
地区災害対策基金特別	刀根 壯兵衛 (敦賀)	田中 誠二* (京都東) 坂本 克也 (京都八幡) 菅原 淳輔 (福井北) 有井 邦夫 (福井) 岡野 益巳 (京都東)	14	米山奨学	富川 悟 (奈良大宮)	磯田 隆雄* (大津) 福永 利平 (長浜東) 井上 武雄 (京都東山) 大井 隆雄 (武生府中) 鈴木 基一 (京都中)	15
地区研修	神谷 保男 (敦賀)	菅原 淳輔* (福井北) 岡井 忍 (福知山)	6	地区ロータリー財	八木 秀之 (敦賀西)	伊藤 孝夫* (大津西) 井澤 茂 (福井北) 中谷 裕二良 (生駒)	10
R L I	田中 文夫 (福井南)	岡村 俊男* (水口) 桑原 重之 (福井北) 森 義治 (京都西) 今村 祐一 (京都) 佐伯 山本 (京都東)	15	財団資金推進	脇田 武勝 (京都山城)	秋村 喜芳* (大和高田) 西川 竣治 (びわ湖八幡) 範内 猛之 (長浜)	10
規則・手続	佐藤 公一 (平城京)	小中 達磨* (京都洛南) 川上 賢正 (近江八幡)	6	大口寄付・ポリオプラス	畑 東海男 (舞鶴東)	小佐々 順夫* (綾部) 清水 洋市 (五軒並能川)	5
ロータリー情報	高橋 行雄 (舞鶴東)	北谷 泰彦* (大和郡山) 内藤 雅夫 (京都乙訓)	9	財団補助金	井澤 茂 (福井北)	丸岡 二郎* (武生府中) 中川 基成 (あすか) 新庄 博志 (大津)	8
財務	山形 晃 (敦賀西)	小西 清茂 (京都南) 勝田 純一 (京都東)	3	財団資金管理	山本 意宏 (八日市南)	今井 正人* (大津) 中村 敏雄 (福井北)	5
会員増強・拡大	岡崎 正司 (水口)	石松 陽一* (京都さくら) 細川 直人 (福井北) 今村 憲一 (若狭) 中嶋 慶喜 (水口) 吉田 太三 (あすか)	14				
地区学友	森定 秀夫 (京都西北)	奥 敏郎* (京都洛北) 宮本 研二 (京都西) 大島 友治 (福井北)	9				

*印は副委員長 日本ロータリーEクラブ2650は、Eクラブに省略 バストガバナーは就任順

2016/06/02 現在

国際ロータリー第2650地区 2016-17年度 地区幹事会名簿

(敬称略)

担当	氏名	担当	氏名		
総括	幹事長	山本 等 (敦賀 RC)	大会・集会	幹事	辻 正則 (敦賀 RC)
	副幹事長	浅野 一裕 (Eクラブ)		副幹事	川口 英夫 (敦賀 RC)
		石井 雅章 (敦賀 RC)			中村 俊哉 (敦賀 RC)
		小林 哲夫 (京都南 RC)			西村 弘 (敦賀 RC)
		中村 紀明 (敦賀 RC)			岩井 信彦 (敦賀 RC)
		杉田 博 (Eクラブ)			笠原 勝 (敦賀 RC)
財務	会計長	山形 晃 (敦賀西 RC)	副幹事	中道 佳男 (敦賀 RC)	
	副会計長	吉川 文雄 (敦賀 RC)	社会奉仕・職業奉仕	幹事	増山 淳大 (敦賀 RC)
	幹事	阿瀬井佳一 (Eクラブ)		副幹事	原野 美枝 (敦賀 RC)
	総務	副幹事	菊地 将史 (Eクラブ)		波多野和浩 (敦賀 RC)
幹事		菅原 正之 (Eクラブ)	国際奉仕・フェローシップ	幹事	山本 優 (敦賀 RC)
副幹事		中山 勝美 (敦賀 RC)		副幹事	前川 芳土 (敦賀 RC)
公式訪問	幹事	有馬 聰一 (敦賀 RC)	青少年奉仕	幹事	宇野 美和 (敦賀 RC)
	副幹事	上田 勝康 (敦賀 RC)			小森 英雄 (敦賀 RC)
	副幹事	守金 眞滋 (Eクラブ)		林 敏一 (敦賀 RC)	
広報・月信	幹事	肥田 善雄 (敦賀 RC)	財団・米山奨学	副幹事	大和 一雄 (敦賀 RC)
	副幹事	桐渕 和子 (Eクラブ)		幹事	横井小夜子 (敦賀西 RC)
	副幹事	坪谷 修 (敦賀 RC)		副幹事	南 雅継 (敦賀西 RC)

国際ロータリー第2650地区 2016-17年度 公式訪問日程表

7月			8月			9月			10月		
1	金	第1回ガバナー会	1	月	福井東+福井水仙	1	木	京都乙訓+京都西山 京都さくら(夜)	1	土	
2	土		2	火	京都八幡○+ 京都田辺	2	金		2	日	
3	日		3	水	大和郡山+ 生駒(夜)	3	土		3	月	
4	月		4	木	京都北△+京都 紫野+京都紫竹	4	日		4	火	福知山+福知山西南 綾部(夜)
5	火		5	金	鯖江△+鯖江北	5	月	長浜△+長浜東北 +長浜	5	水	京都朱雀
6	水		6	土	地区財団セミナー	6	火	京都西南+ 京都桂川	6	木	大津西
7	木		7	日		7	水	園部	7	金	
8	金	京都東○	8	月		8	木	宇治+宇治鳳凰	8	土	ガバナー補佐会議②
9	土		9	火	大和高田△	9	金		9	日	
10	日		10	水	五條+桜井 +やまと西和	10	土	I M (第1組)	10	月	体育の日
11	月	京都西○	11	木	山の日	11	日		11	火	京都東山△
12	火	大津○	12	金		12	月		12	水	大津東+大津中央
13	水	京都○	13	土		13	火	宮津+京丹後	13	木	舞鶴△+舞鶴東
14	木	京都南○	14	日	お盆休み	14	水	高島	14	金	
15	金	檀原△+あすか +やまとまほろば	15	月		15	木	京都洛北+京都北東	15	土	I M (第5組)
16	土		16	火		16	金	東近江△	16	日	
17	日		17	水	京都西北+京都平安	17	土		17	月	
18	月	海の日	18	木	水口+湖南	18	日		18	火	京都洛南
19	火	奈良大宮○(夜)	19	金		19	月	敬老の日	19	水	奈良東(夜)
20	水	福井北○+福井西	20	土	諮問委員会① I M (第3組)	20	火	武生△+武生府中	20	木	奈良西+平城京(夜)
21	木	奈良○	21	日		21	水	八日市南	21	金	
22	金	京都城陽+ 京都山城○	22	月		22	木	秋分の日	22	土	I M (第4組)
23	土		23	火		23	金		23	日	日本ロータリー Eクラブ2650
24	日		24	水	勝山+大野	24	土		24	月	
25	月	京都中+ 京都モーニング	25	木	草津+栗東	25	日		25	火	若狭
26	火	京都洛中○	26	金	京都伏見	26	月	野洲	26	水	
27	水	近江八幡○+びわ湖 八幡+五個荘能登川	27	土	ガバナー補佐会議①	27	火	福井南+ 福井フェニックス	27	木	京都洛東
28	木	福井○+ 福井あじさい	28	日		28	水	三国+丸岡	28	金	敦賀○+敦賀西
29	金	京都洛西△+ 京都嵯峨野	29	月		29	木	彦根○+彦根南	29	土	
30	土		30	火	亀岡+亀岡中央	30	金	守山	30	日	
31	日		31	水					31	月	

京都市域 24 京都府下 18 滋賀 21 奈良 14 福井 19 Eクラブ 1

○印 パストガバナー在籍 △印 パストガバナーご逝去 + 合同公式訪問 (創立年順)

ロータリー
Rotary Moment

モメンツト

「心に残る海外奉仕」

2016-17年度 地区研修リーダー・パストガバナー

神谷 保男（敦賀RC）

忘れられないロータリー体験は、何と申しても東南アジアの国々へ出掛けて行っての奉仕の中にあります。

- (1) 2002年福井県下RC共同事業として、ミャンマーでの小学校建設寄贈に参加。
そこは空港から遠い「ヨアテツ村」へ、バスで向いました。途中で敦賀連隊の激戦地で連隊長も戦死された近くを通り、メコン河を渡り有名な「白骨街道」を半日かかりで到着。小学生や村人達の歓迎があり、寄贈式も盛大に行われました。3年後に私がガバナーの際の地区大会に、ヨアテツ村の村長と教師、小学生数名を招いて舞台上で紹介。そのあと市内の小学校を見学し児童との交流を深めました。
- (2) 岡村ガバナーの年度、カンボジアでのポリオミッションに参加。トレンサップ湖（琵琶湖の数倍）を舟で行き、沿岸漁民の傾きかけの家へ乗り移りワクチンを投与しました。
- (3) 2005年、私がガバナーの際にはパプアニューギニアのラバウルでのミッションでした。船がニューブリテン島に着く時、浅い海岸に日本の戦車が二台沈んでいました。ラバウル航空隊の飛行場跡や、山本司令長官が戦死される前日まで泊っておられた「山本壕」、山林の中には爆撃機が原形を留め、大砲や小銃などもあり、同行の財津PGは兄君が此の辺で戦死されたそうで、日本から持参の清酒を撒いて献上しておられました。
- (4) 大久保ガバナーと今西ガバナーの年度には、フィリピンのレイテ島でのポリオミッションに参加しました。毎日が猛暑の中の仕事なので途中で1日休日があり、私はホテルのプールで泳ぎました。目の前の真青なレイテ湾には、日本海軍の艦艇が百隻近く沈んでおり、その中に眠る将兵の霊に心から感謝と鎮魂の祈念をしながら泳ぎました。
- (5) いずれの国の子ども、キラキラと輝く目をして微笑んでいたのが印象的でした。



2003年1月ヨアテツ村小学校寄贈



2005年1月ポリオミッション

「ロータリークラブは大太鼓のようなもの」

2016-17年度 ガバナー補佐
山口 義治（京都洛東RC）

心に残るロータリーの体験といえば、何と云っても、個性的で人間味溢れる経験豊かな会員とお出会いし成長できたことでしょう。私たちは、人生を送るうえで、数多くの人々と邂逅（出会い）を繰り返しますが、その多くは単なる通過点として終生縁のないまま終わります。人生において、自分がさまざまに思い迷っているときに、「この人に逢えてよかった」とか「この人に逢うことによって開眼させられた」などという邂逅は、決して多くはありません。しかし、ロータリークラブでは、このような素晴らしい邂逅が期待できます。

次に、社会奉仕活動を含むロータリー活動をおこなうことによって得られた貴重な経験と充実感を挙げることができます。私は、京都洛東ロータリークラブに所属していますが、わがクラブでは、創立25周年の記念事業として、京都三山（東山）の森林に苗木を植樹する事業をおこないました。現在、京都三山の森林は、ナラ枯れや鹿による食害等のため多くの樹木が枯死するなど、危機的状況に瀕しています。京都三山の森林の再生保全を目的に、わがクラブ会員は、一致団結して汗をかきながら東山の中腹まで登り苗木約300本を植樹したのです。地域社会のニーズに対応した有意義でかつ効果的な社会奉仕活動であったと自負しており、このときの充実した感動は、経験した者でなければ得られないものでした。

心に残るロータリーの体験としてもう一つ学んだことがあります。それは、会員として単にロータリークラブに在籍しているだけでは、何も得られないということです。スリーピングメンバーであったり、会員との交流やロータリー活動に不承不承参加しているという消極的態度では、素晴らしい邂逅も経験も得られません。経験とは、その人に何が起こったかではなく、起こったことにどう対処したかであります。会員がロータリー活動に熱心に取り組めば取り組むほど、ロータリークラブは、多くの邂逅と経験（成長）をもたらしてくれます。比喩的にいえば、ロータリークラブは大太鼓のようなものです。強く打てば打つほど大きな響きが返ってくるし、弱ければ弱いほど小さな響きしか返ってこないのです。



京都三山（東山）植樹



京都三山（東山）植樹

ロータリーコラム

第1回

2016-17年度ガバナー
刀根 莊兵衛



あなたはなぜロータリークラブに入会するのか？

「誰もがこの世の中を変えようとしてロータリークラブに入ったわけではありません。大部分の人間は、仲間が広がる機会を求めて入会したのです。ロータリーの深い影響はゆっくりとやってきました。私たちは、ゆっくりとその精神に身をひたしているのです。」

私は、『なぜロータリーに入会するのか?』と問われるたびに、このエドワード・カドマン元RI会長の言葉を思い出します。



Edward F. Cadman

エドワード F. カドマン

1985-86年度RI会長 米国 ウェナッチRC

祖父が敦賀クラブのチャーターメンバーで、続いて父親が敦賀クラブの会員となり、その父親が急逝したあと、今度は私が父の友人たちに誘われるままに、敦賀クラブに入会いたしました。その後、平々凡々とロータリーライフを過ごしておりましたが、入会19年目に急遽順番が繰り上がり、クラブ会長を拝命することとなりました。そしてその時、思いもよらない事態が起きました。

初めて参加した福井県下の会長会で、次の福井県からのガバナー選出は、何としても敦賀クラブから輩出するようにとの全会一致の強い要請があったのです。この強い要請を受けて、クラブ会長として、クラブ内での公式非公式に何度も会議を重ねた結果、漸く神谷ガバナー誕生まで漕ぎ着けることが出来ました。これでクラブ会長としての任務もやっと終えたと思っていた矢先、今度は神谷パストガバナー（当時はガバナーノミニー）より、思いもよらぬ幹事長の就任要請がありました。当初、幹事長などの主要幹事団の役職は、すべてクラブの長老が任命されることに内定していたのですが、その後、様々な事情によって辞退

者が相次ぎ、最後の最後になって私にその大役が回ってきたのです。クラブ会長として、今さらご要請をお断りして、クラブを混乱させることもできない状況で、まさに「清水の舞台から飛び降りる」覚悟で、幹事長予定者をお引き受けしました。

そして2年後、あと少しでガバナー年度が終わり、幹事長職から解放されようとしていた矢先に、今度は地区委員長、続けてガバナー補佐を拝命することになり、思いもよらぬ方向にどんどん事態が進んで行きました。そしてこの度、入会当時には夢にも思わなかったガバナーと言う大役を仰せつかることになりました。思い返せば、私のロータリーライフは、本当に予期しない思いがけない偶然の出来事の連続ばかりでした。

カドマン元RI会長はさらにこう続けます。

「会員は入会して徐々に変化が起こり、単なる人からロータリアンに変身していくのである。ロータリアンは、生まれるものではなくて、創られるものなのである」と。

私自身、真のロータリアンに変身できたかどうかは全く自信ありませんが、『創られるものなのだ』と言うカドマン元RI会長の指摘は、本当によく理解できるものでした。

カドマン元会長はご自身がロータリアンに変身していく様子を次のように表現されています。

「ロータリー精神は一口では表現しにくいけれども、友情、地域社会への努力、あらゆる人の職業への理解、仲間への友情を含むものであります。入会は派手なものでなく、平々凡々としたもので

したが、徐々に変化が起こり、単なる人であることから、ロータリアンへの変身が始まりました。ロータリアンに変身していくゆっくりとした過程そのものに、大きな価値があるのです。ロータリアンとして歳月を重ねると、そこから受ける人間的温かさと愛情、これはロータリーに尽くし得ることより圧倒的に大きなものがあることがわかってまいります。」と、ロータリーライフの究極の目的は温かい人柄になれることだと結論付けておられます。

日本人として3人目のRI会長となられた田中作次氏は

「ロータリーへの入会の動機はどんなものであっても、入会后、奉仕活動の実践を通じて誰かの人生に喜びをもたらすことによって、自分自身が幸せになれるということが、多くのロータリアンにとってロータリアンであり続ける理由です。」と仰っておられます。



田中 作次

2012-13年度RI会長 日本 八潮RC

また、田中元RI会長は、「ロータリーについてあなたが良いと思うところを20以上挙げて下さ

い。」とも言われました。嫌なところばかり見るのではなく、良いところを探してみる！悪いところは改善すればいい！そして良いところだけを見ていけば、これがロータリーの魅力に繋がる！ということでした。その時、田中元RI会長はすぐにも20以上のロータリーの良いところを列挙できると仰っておられましたが、皆様は如何でしょうか？

私の経験から良いところをいくつかをピックアップしてみますと、やはりロータリーに入って良かったことは、第一に『人との出会い』ではないかと思います。ロータリーに入らなければ、こんなに親しくさせて戴くことはできなかったであろうと思われる方々との出会いが、本当に数多くありました。クラブ内においても地区内においても、またある時は地区を超えて、更には海外でも様々な人と出会うことができました。こんな素晴らしい人がいるのかと思うような方との出会いは、ロータリーならではの醍醐味のひとつでしょう。たったバッジひとつの繋がりなのですが、その不思議な力は運命的な出会いを実現させて戴きました。この出会いはまさに、ロータリーマジックという他ありません。

また、海外の友人と一緒に額に汗して奉仕活動を実践した時の感動も、ロータリーならではの経験だと思います。奉仕の感動は外国人も日本人も関係なく共通のものだと、改めて実感した瞬間でした。グローバル補助金事業によって、タイの山奥での教育支援と学校改修事業が完成し、子供たちや住民の方から、あらん限りの感謝の気持ちを伝えられた時、その言葉はよく分かりませんでした。彼らの感動は手に取るように伝わり、私た

ちの目からも自然と涙が溢れました。このような素晴らしい感動は何物にも代え難く、ロータリーに入らなければ味わうことができない喜びではないでしょうか。

奉仕される側よりも奉仕させて戴く方が、より大きな感動と感謝を得ることができるという言葉は、本当に事実なのです。特にロータリーの奉仕は、純粋な見返りを求めない奉仕であるからこそ、その感動は格別に大きいものなのだと思います。聖書には次の言葉が記されています。

「ごちそうをするときは、お金持ちや地位の高い人を呼ぶ代わりに、貧しい人、病める人、虐げられた人を呼びなさい。この人たちはごちそうのお返しをすることはできないから、あなたの行為は尊いのだ。」

現在、私たちの社会ではすべて法律や契約で成り立っています。提供した労働や技術に対して、当然、正当な報酬が求められます。しかし、一方で、無償の行為の尊さがどれだけ人々を力づけ、励まし、奮い立たせ、この世に感動を与えているかということも、決して忘れてはならないと思います。無償の行為、お返しを求めない行為が、実はそのお返しは何百倍にもなって世の中の人の心を潤しているのです。

折角ロータリーに入会しても、ロータリーをよく分からないままに、退会される人が多いと言われています。大変残念なことです。そのような方は、感動を味わう機会に恵まれなかったのかもしれませんが、もう少しロータリーを知る機会が

あつたら、違つた運命になつたのではないかと思わずにはいられません。

『ロータリーモーメント（心に残るロータリーの体験）』を体験していくことで、「あなたはロータリアン」になつていくはずだと、田中元RI会長は仰つておられます。私は、ロータリークラブの会員が奉仕の喜びと感動を味わいながら、次第に真のロータリアンになつていく過程の中で、ロータリーの魅力を実感していくのではないだろうかと思ひます。少しでも人のお役に立ち、みんなのためになる、そういう意識を持つて奉仕活動に関心を深めることが大切であり、その達成感や充実感がロータリアンを育てることになります。そして、このような感動が、やがてはロータリーの発展や会員増強にも繋がっていくものと思ひます。

仕方なく入会したロータリーという方がおられるかもしれませんが、折角縁あつて入つたのです。ひとつでもロータリー活動に積極的に参加し、ほんの少しでもロータリーモーメントを体験することによつて、しだいにロータリーが好きになり、結果的に自分の人生が豊かになつていくことに繋がるのではと思ひます。

最後に、私たちの人生の目的は、生まれてから今日まで生きてきた感謝の念をお返しさせて戴くことによつて、自分を少しでも成長させることだと思つております。そして、結果的に人のお役にたてることによつて喜ぶのは、実は自分自身（自分の心）であり、奉仕は結局自分に返つてくるのではないかと言ふのが私の結論です。まさに、この言葉ではないでしょうか！

“He profits most who serves best.”



Arthur F. Sheldon

アーサー F. シェルドン

米国 シカゴRC

皆様も是非一度、このようなことを話し合う機会をもたれては如何でしょうか？



ロータリーの歴史

第1回「ロータリーの名称とエンブレムの歴史」

ロータリーという名称の起源

ロータリーという名前がどのような経緯を経てつけられたのか、エンブレムがどのようにして決められたのか、残念なことに、正確に記載した一次資料は見当たりませんが、二次資料を参考に我々のルーツを辿ってみました。

ポール・ハリスは殺伐とした大都会の中で、心から語り合える友を求めて、ロータリークラブを作りましたが、このクラブも当時星の数ほどあった社交クラブの一種であって、全米各地には数え切れないほどのクラブが出来ては潰れていきました。

1906年に、ドナルド・カーターが社会的奉仕活動という概念を提唱しなかったとしたら、1908年に、アーサー・シェルドンが職業奉仕という概念を提唱しなかったとしたら、1923年に、ウイル・メーニャやポール・ウエストバーグが決議23-34によって奉仕理念と奉仕活動の実践を調和させなかったとしたら、今日のロータリーがないことは間違いありません。

ロータリークラブの目的を、利己を目的とする親睦や相互扶助から、他人の事を思い遣り他人のために尽くす奉仕に転換させたことが、ロータリーの発展に繋がりました。

さらに、創立者のインスピレーションに捉われることなく、毎年指導者が交替するという斬新な運営方法を採用したこともロータリーが発展した大きな要因となっています。

現在のロータリーの目的や定款の中には、「親睦」の文字を見つけることは難しく、社交クラブの面影は残っていません。しかし、ロータリー運動の前提として「親睦」は欠かすことのできないファクターであることは間違いのない事実です。時代と共に、ロータリー運動がどのように変化していこうとも、ロータリーが親睦を目的とした社交クラブとして出発したという事実は、すべてのロータリアンの遺伝子の中に深く刻み込まれています。

ロータリーの名称は、最初に提案された名前はブースタークラブBooster Club（推進者）でした。次に、「ラウンド・テーブル・クラブthe Round Table Clubはどうだろう」、さらに、「コンスピレーターズ・クラブ（共謀者）the Conspirators Clubと呼んではどうだろうか？」等々沢山の名前が卓上を賑わしましたが、最後に誰かが言いました。

「我々はお互いの事務所で、一種のローテーションを取り決めて、会合を開いている。ロータリークラブRotary Clubと呼んではどうだろうか。」

残念なことには、その言葉を誰が発したのかを、幹事は記録していませんでした。

ロータリーの歯車の歩み

徽章

1905年かあるいはそれより少し後にシカゴ・ロータリークラブによって考案され採用されたロータリーの最初の徽章は車の輪の形を現していた。他のクラブが結成されるに従い、この徽章も段々と修正され、時には歯車が使用された時もあった。そして1912年の大会において、この歯車を現す徽章が採用されたのである。

1919～20年度国際ロータリー理事会は、1912年に採用された徽章の説明が明確を欠くという議論が多いのを認め、2名のロータリアンが提出した図案を受け入れ、

更にこの徽章を使用する場合には、そこに記された文字を変更してはならないし、またその他一切の変更を加えてはならない旨を規定した。この理事会の決定は1921年の大会において規定されている。

この規定された徽章の採用に関して、国際ロータリー理事会（1923～24）は国際ロータリーの公式徽章の記述を採択し、1929年の大会において確認された。（大会決議29-12）

最初の紋章はハリー・ラグルスが作った。彼は自分の



1905年

会社であれこれ ロータリーの紋章について考えている中に、当時の新聞広告に馬車の販売広告が出ているのが眼にとまり、例会場の回り持ち、物と思想の伝達手段としての馬車とを結びつけ、13本の支柱からなる馬車の車輪を以ってロータリー・クラブの紋章とした。

ところがこの紋章には動きが見られないということと馬車の車輪の中でも荷馬車の車輪で品がないという批判が現われるに及んで、ポール・ハリスが会員であるモンタギュー M・ベアに改良方を依頼した。時に1906年のことである。



1906年

そこでモンテイは軽快で上品な二頭立の馬車の車輪を作ろうとし、14本の細い支柱を以てする華奢な車輪を作り、その上に Rotaryclub と書き、その下に運動を示すために雲をつけた。

しかし残念なことにも、この紋章の寿命は短かった。シカゴ・クラブの会員の間で極めて不評判であり幻燈機の製作者として有名なロング・トム・フィップ“Long Tom”Phillipが、この雲は塵にみえるし、その塵が車の後に見えるのならともかくも、車の前方に見えるのは不合理だ等、あからさまに非難した。

そのようなことから、早速改正され、同年度中に12本の支柱よりなる更に軽快な馬車の車輪の下半分にリボンをつけ、その周囲に雲をつけ、リボンの中に Rotaryclub と書き、車輪の上に Chicago と書いた。



1910年

これが1910年に全米ロータリー連合会 National Association of Rotary Clubs ができた時までのシカゴ・クラブの紋章であった。



1908年～
バッファロー・クラブ

1908年以降 全米各地にロータリー・クラブが出来て行ったが各クラブはそれぞれ独自の紋章を用い、したがって第一回の全米ロータリー連合会の大会がシカゴで開かれたときは、16のクラブは16の紋章を僱用していたわけで、その中には歯車を使っていたものもあったという。中でも面白いのはニューヨーク州のバッファロー・クラブは車輪に野牛を配し、カリフォルニア州のオークランド・クラブは車輪にかしの木を配するといったように郷土の象徴を加味したものもあった。

そこで第一回の大会で共通の紋章制定の声が上がりシカゴ・クラブの紋章を若干修正し、車輪の上のシカゴの文字を取り、そこに National Association という文字を

入れて共通の紋章とした。なお、全米のクラブに紋章の募集をし、その中で最優秀なものを採択し、また配色として、ロイヤル・ブルーと金色を以て正式の色として出来上がったのが、1912年制定の紋章でこの時始めてギヤが使われた。



1912年

これは8本の支柱と19個のギヤを以てする歯車で、上部の輪中に Rotary 下部の輪中に International Association という文字を配した。

しかしこの紋章もまた、理科系の人達から大変な不評を買い、このギヤは理論上存在しえないと攻盤されたのである。



1920年

そこで、ミネソタ州のドウルース・クラブ Duluth club のオスカー・B・プジョー ジ Oscar B.Bjorge とシカゴ・クラブのチャールズ・H・マッキントッシュ Charles H.Mackintosh が委員となり、1920年アトランティック・シティの大会で可決されたものが、今日のとほぼ同様の6本の支柱と24個のギヤよりなる紋章である。



1924年

しかし、この歯車の中心に喫穴がないことから始動ができないというので、1924年の大会で喫穴がつけられて今日に到っているのである。

(Oren Arnold"Golden Strand" P.P33-35:塚本義隆『ロータリー紋章の由来』大阪クラブ週報1971年2月8日号；小堀憲助『ロータリーのパジャの話』相模原クラブ週報1968年9月12日号参照)

新しい視覚的イメージ (Visual Identity)

Rotary



2013年8月

長年にわたり、ロータリーの「歯車」が資料や掲示板でロゴとして使われてきました。この歯車には「Rotary International」という文字が入っていますが、文字が小さいために遠くからは読みづらいものとなっています。その結果、一般の多くの人びとは、ロータリーの存在またはプロジェクトや活動におけるロータリーの貢献に気づかないことがあります。

ロータリーのロゴに「Rotary」という文字を入れたのは、このためです。これがロータリーの公式ロゴであり、可能な限り、このロゴを表示するようにしてください。

また、公式ロゴのほかに、ロータリーの歯車を大きく表示したのが「誇りのシンボル」(Mark of Excellence)です。このような表示によって強いインパクトを与えることができます。ただし、「誇りのシンボル」は公式ロゴの近接位置に表示する必要があります。



ロータリー情報

2016年規定審議会は4月10～15日、米国イリノイ州シカゴで開催され181の立法案（制定案118、決議案63）が審議されその結果がRIホームページに速報報告されました。この機会に規定審議会についてのご理解を深めて頂くためにご案内いたします。また、2016年採択結果一覧をご報告いたします。2016年規定審議会の立法案（日本語版）
<https://www.rotary.org/myrotary/ja/exchange-ideas/events/council-legislation>

■ 規定審議会 (Council on Legislation : COL) とは

規定審議会は国際ロータリーの立法機関で、その組織規定を改正する権限を有する（RI定款第10条、RI細則第7条と第8条）。また、理事会は規定審議会に関する決定を行った（ロータリー章典第59条）。

規定審議会は3年に1度、4月、5月、6月のいずれかの月、できれば4月に招集されるものとする。その時期と場所については理事会がこれを決定する。ただし、理事会全体の3分の2の賛成票で決定されるような、財政的その他のやむを得ざる理由を除き、規定審議会は国際ロータリー世界本部の近隣地域において開催されるものとする（RI定款第10条第2節）。

2016年規定審議会では2014年12月31日の締切日までにロータリーが受理し、定款細則委員会による助言の下、RI理事会が「正規」とみなされた立法案が審議されました。立法案には、制定案と決議案の2つの種類があります。制定案は、RIの組織規定を改正する目的で、RI定款、RI細則、標準ロータリークラブ定款が含まれている。一方、決議案は上記文書への改正を求めず、そのほかのRI方針や手続きへの改正を求めるものである。

■ 規定審議会の構成 (Membership)

● 代表議員 (Representatives)

各審議会の2年前のロータリー年度に、各地区内のクラブは、審議会で地区内クラブを代表するロータリアンを1名選ぶ（2016年審議会の代表議員は、2013-14ロータリー年度に選ばれる）。この代表議員は審議会の投票権を有する議員である。

● 選出 (Selection)

代表議員は、地区ガバナーの選出に定められているのと同じ指名委員会の手続によって選出されるべきである（RI細則8.050）。地区が指名委員会を通じて代表議員を選出しないと決めた場合、地区大会にて代表議員を選挙するか（RI細則8.060.1）、一定の承認された状況においては郵便投票によって選んでもよい（RI細則8.070）。代表議員が出席できない場合に備えて、補欠議員も選ぶ。

● 資格 (Qualifications)

各代表議員は、RI役員として全期務めた人（または特別な事情のある場合には現ガバナーかガバナーエレクト）で、選挙時に、自分が代表する地区内のロータリークラブの会員でなければならない（RI細則8.020）。

審議会代表議員を務めるには、代表議員はその資格について承知していなければならない、次のことをしたためた書面を事務総長に提出しなければならない。

- 1) 代表議員の資格要件と責任をはっきりと理解していること
- 2) この責任を引き受け、それを履行するための資格要件、意思、能力を備えていること
- 3) 審議会に、その会期全体を通じて出席すること（RI細則8.020.3）

如何なるロータリアンも、代表議員として審議会に3回を超えて出席してはならない（RI細則8.010.1）。

各地区は、ロータリーの現在の方針、手続、プログラムに精通し、かつ規定審議会に出席できる最も適格なロータリアンを、審議会代表議員に選ぶべきである。RI理事会は、審議会代表議員は、代表議員の規定任務を遂行し得るかどうかによって選ぶのであって、地区内の個人としての評判で選ぶのではない、ということを強調している。代表議員の役割は、真剣かつ責任重大である立場とみなすべきであり、単にガバナー経験者であればよいというわけではない（ロータリー章典59.040.2）。

2016年規定審議会 クラブ関係の主な採択された事項

番 号	案 件
16-01	クラブ理事会の議事録を60日以内に全会員に開示しなければならない。
16-02	クラブ会計を理事会メンバーとする。
16-05	CLPに基づく5つの常任委員会を有するべきである。(クラブの裁量により任意) (クラブ管理運営・会員増強・公共イメージ・ロータリー財団・奉仕プロジェクト。必要に応じて追加可)
16-06	標準ロータリークラブ定款にロータリークラブの目的(Purposes)を新設する。
16-07	クラブ入会金規定を削除(クラブの裁量により任意)
16-10	五大奉仕部門の職業奉仕の定義に、「自己の職業上の手腕を社会の問題やニーズに役立てるために、クラブが開発したプロジェクトに応えることが含まれる」を追加。
16-21	クラブ例会頻度と出席に関する規定をクラブ細則で定めることができる。(クラブの裁量により任意) ただし、最低1ヶ月に2回は開催しなければならない。
16-26	祝日のある週は、クラブ例会の取り消しが出来る。(クラブの裁量により任意)
16-30	従来型のクラブでもインターネット例会が可能。同時にEクラブも顔を合わず例会も可能。
16-82	従来型クラブとEクラブとの区別がなくなる。 RI細則と標準ロータリークラブ定款からEクラブ条項を削除する
16-34	出席免除規定の緩和。子供の誕生等で12カ月以上の欠席を認める。(クラブの裁量により任意)
16-35	出席免除規定に20年以上のロータリー歴を加える。(クラブの裁量により任意)
16-36	会員身分をクラブ独自で決定できる。(クラブの裁量により任意) 正会員のサブカテゴリーに準会員、家族会員などが可能。
16-38	会員身分の条件を簡潔化。 善良で、高潔性、リーダーシップを持ち、良い評判を受け奉仕の意欲のある成人とする。 その他の従来の条件はすべて削除。
16-40	ローターアクターとロータリー学友を正会員と認める件 ローターアクターとロータリー学友にロータリークラブ会員となる資格を与える。 これによって職業分類が一時的に制限を超えてもよい。ローターアクターは2重会員となれる。
16-51	移籍ロータリアンに関する規定に統一性を持たせる。 ただし、金銭的債務の有無は削除。
16-99	人頭分担金を増額する件 RI副会長の修正動議が可決し、毎年4ドルずつの大幅な値上げ 17-18年度 60ドル 18-19年度 64ドル 19-20年度 68ドル (参考：15-16年度は55ドル、16-17年度は56ドル))

※赤字で表記している項目は、別途クラブの裁量により任意にクラブ細則で定款の例外を定めることができる。

国際ロータリー第2650地区 2015-16年度 4月 会員の動き

4月入会者一覧

クラブ名	氏名	職業分類
福井北	池上 優徳	地域貢献活動
福井北	木村 英晴	料亭
福井北	中野 裕行	旅行斡旋
福井北	林 徹郎	生命保険
福井東	三田恵美子	弁護士
福井フェニックス	稲木 義彦	イベント企画
福井フェニックス	古市千津子	ホテル業
福井	村上 憲司	中央銀行
福井	中島 康志	住宅建築工事
福井	中島 良成	総合建設工事
武生	足立謙一郎	証券業
丸岡	笹埜 博	軽貨物運送業
丸岡	瀬野 友伸	織ネーム製造
近江八幡	辻 篤司	保険代理業
栗東	齊藤 隆夫	電気通信工事
五個荘能登川	北村 健	建築設計
高島	鳥居 武	料理旅館
高島	田中 良博	商業銀行
守山	岩崎 元英	不動産業
守山	高橋みちえ	地方行政
水口	奥田 浩之	建設
水口	平野 憲一	ゴルフ
大津	浜崎 大祐	不動産鑑定士
長浜	金森 弘和	食品製造
長浜	湯坐麻里子	弁護士
長浜東	井内 省吾	公証人
長浜東	大神 信也	建築請負
長浜東	中村 彰	建築業

クラブ名	氏名	職業分類
彦根南	土田 信之	旅行業
彦根南	田中 伸幸	証券業
京都洛北	梶山 淳	翻訳業
京都洛中	市川 寛	大学
京都北東	鈴木 明廣	建物管理
京都北	植村 一夫	手芸用品販売
京都八幡	堺谷 清	不動産
京都田辺	前中 一良	不動産管理
京都中	肥田 自豊	仏教
京都西	石原 義清	和菓子販売
京都紫野	武岡 一郎	電機機器製造
京都紫野	福田 幸治	スポーツ教室
京都紫竹	田中 裕芳	不動産賃貸
京都嵯峨野	津田真由味	会社サービス
京都嵯峨野	渡辺 秀明	幼児教育
京都嵯峨野	水田 隆一	印刷業
京都モーニング	森下 浩	循環器科
京都モーニング	川瀬 健一	花販売
京丹後	中井 均	精密機械製造
亀岡	山崎登志雄	税理士
亀岡	松岡 保彦	不動産鑑定士
宇治鳳凰	井上 佳子	薬剤師
宇治鳳凰	北島 聡之	不動産管理
宇治	志水 啓二	米穀販売
樺原	豊田 博樹	欧風料理
平城京	武田 康子	葬祭業
奈良東	岡島 祐紀	電気工事
奈良	板床 俊祐	証券業
五條	増田 安司	商業銀行

4月退会者一覧

クラブ名	氏名
福井	伊藤 博
福井	江藤 公彦
福井	前田 敦
福井	長田 淳
福井	齊藤 博高
福井北	鋤柄 憲一
福井北	松平 好治
草津	松田 正夫
野洲	樋口 正二
彦根南	喜多 秀一
彦根南	池田 良
東近江	武地 孝治
大津西	松井 成一
水口	星野 忠夫
高島	中野 雅之
近江八幡	西川 剛正
京都	磯田 晴久
京都南	西光 正至
京都南	森本 勝
大和高田	高磯 俊一
大和高田	萬代 真司
奈良	西田 隆司

ご逝去会員一覧

クラブ名	氏名
京都	渡邊 嘉男
京都洛中	北川 武彦

文庫通信 (345号) <http://www.rotary-bunko.gr.jp>

「ロータリー文庫」は日本ロータリー 50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万4千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

RYLA 他

- ◎「新世代奉仕RYLA」田中作次 [2015] 7p (第7回全国RYLA研究会報告書)
- ◎「RYLA・その理論と実践 その1~3」深川純一 2015 3p (純ちゃんのコーナー Part X IV)
- ◎「RI戦略計画と青少年奉仕」南園義一 [2015] 7p (第7回全国RYLA研究会報告書)
- ◎「RYLAにおける中核的価値観とリーダーシップ」南園義一 2015 12p
- ◎「リーダーの心-第37回RYLAセミナーにおける総括講義」深川純一 2015 16p (純ちゃんのコーナー Part X IV)
- ◎「ロータリー平和センターの意義とロータリーに期待する事」日比谷潤子 2015 7p (第43回ロータリー研究会報告書)
- ◎「オリンピックとロータリー」水野正人 2016 4p (D.2690 地区大会記念誌)
- ◎「遺伝子オンにして可能性を引き出す」村上和雄 2016 2p (D.2710 月信地区大会特集号)

[上記申込先: ロータリー文庫]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階
 TEL (03) 3433-6456・FAX (03) 3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>
 開館=午前10時~午後5時 休館=土・日・祝祭日



国際ロータリー第2650地区 ホームページの紹介

第2650地区のホームページ <http://www.rid2650.gr.jp/>

第2650地区のホームページが新しくなりました。各地区委員会活動の報告や各クラブからの事業報借等、様々なメッセージ等を掲載いたします。是非ご覧になってください。

Rotary District 2650



Kyoto
Nara
Shiga
Fukui

国際ロータリー第2650地区

2016-17年度ガバナー 刀根 莊兵衛

ガバナー事務所 ●
 〒600-8216 京都府京都市下京区東塩小路町614番地 新京都センタービル5階250号室
 TEL: 075-353-2650 FAX: 075-343-2651 E-mail: gov2016-17@rid2650.gr.jp